



はたけ二十歳 輝く未来へ

令和4年度は松本市で2,624人、うち鎌田地区では200人の皆さんが二十歳になり成人の日を迎えました。「キラリ☆かまだびと」の第5回では、二十歳になったお二人に20年間の思い出や将来の夢などをお聞きました。

- Q 1. いま何をしていますか
Q 2. 頑張っていること
Q 3. 20年間で一番の思い出
Q 4. 小学生～高校生で一番楽しかったこと
Q 5. 尊敬する人
Q 6. 将来の夢
Q 7. 理想の大人像
Q 8. 松本市内でお気に入りの場所
Q 9. 最近関心があったニュース
Q 10. 家族へ一言



鎌田地区
令和5年1月1日現在
総人口 20,039人
(前年比 +294人)
世帯数 9,506戸
発行者 鎌田地区公民館
公民館報編集委員会

国家試験に合格して 介護福祉士として働きたい!



いしはら ゆうあ
石原 悠愛さん
(井川城下区町会)

- A 1. 東京にある福祉の専門学校に通っています。介護施設で実習も行っています。
A 2. 介護福祉士の国家試験に向けて勉強を頑張っています。
A 3. 専門学校の友人とディズニーに行ったこと。
A 4. 小学生のとき、クラス全員で松本ぼんぼんに参加したこと。
A 5. お母さん。高校生のとき、長期療養が必要となった私に寄り添ってくれました。
A 6. 介護福祉士として働きながら、ケアマネジャーや社会福祉士の資格を取り、仕事の幅を広げたい。
A 7. 感情に流されず、冷静に判断・行動できる大人。
A 8. おきな堂 (中町)
A 9. 保育士による虐待の事件。
A 10. 20年間ありがとうございました。これからもよろしくお願いします。

今しかできないことをたくさん経験し、 将来は航空業界へ

- A 1. 鳥取環境大学で経営学を専攻しており、講義では企業の事業達成における方策などを学んでいます。
A 2. 部活動。中学からバスケットボールを継続して行い、日々練習に励んでいます。
A 3. 小学生のとき、父とドイツ旅行に行ったこと。日本とまるで違う異文化に感動しました。
A 4. コロナ禍で開催が厳しい中、仲間と高校の文化祭を成功させたこと。
A 5. 両親と高校時代の担任の先生。考え方など、いろいろな面で尊敬できます。
A 6. 航空業系の企業に就職し、グランドスタッフとして働きたい。
A 7. いろいろなことに気配りできる大人。
A 8. 城山公園の展望台。
A 9. サッカーのワールドカップ。
A 10. 今まで迷惑ばかりかけたので、これからは親孝行できるように精進していきます。これからも末永くよろしくお願いします。



さいとう らいと
齊藤 良人さん
(高宮町会)

20年前はこんな出来事があった年でした

2002 (平成14) 年 4 月 松本市美術館開館・松本大学開学

- 〳 5 月 W杯サッカー日韓大会開幕 (パラグアイが松本で事前キャンプ)
- 〳 8 月 多摩川にアゴヒゲアザラシ出現、愛称「タマちゃん」で人気に
- 〳 9 月 田中康夫知事が出直し選挙で対立候補に大差をつけて再選
- 〳 10 月 北朝鮮による拉致被害者の日本人5人が24年ぶりに帰国

◆ 2003 (平成15) 年1月の
松本市の人口…209,512人
(2023年1月は236,447人)
鎌田地区の人口…18,134人
(2023年1月は20,039人)

DVD の映像を見ながら体を動かします (五月町公民館)



高齢による衰弱や転倒・骨折を予防するため松本市が推奨する筋トレ体操「いきいき百歳体操」が鎌田地区の五つの町会に広

街かどの話題 151



広がっています
「いきいき百歳体操」

が広がっています。

その一つ、昨年 8 月から体操を始めている五月町のグループは、週 1 回 40 分、60 歳代から 80 歳代の 15 人程が集まり、手首、足首に重りを着け、腕や足をゆっくり動き筋力アップ運動に取り組んでいます。

体操を続けている効果として「体が軽くなった」「始めの頃より重りの重さを感じなくなった」など、体力の向上を実感していました。

ほかの町会でもこの体操が広がるといいますね。

鎌田小学校のクラブ活動 地域の大人も指導を担当

鎌田小学校の 5・6 年生は学年の違いを超えて交流を深めるクラブ活動を実施しています。指導者は先生や地域住民です。

今年度は手芸や箸、折り紙など 16 のクラブ活動を 11 月から 4 回に分けて行いました。工作クラブには男女 22 人が参加。講師役の松本捷幸さん (両島) の指導のもとで、災害時に避難所で役立つホイッスル・紙コッ



地域の方と交流しながら工作をする児童たち

プ・物入れ箱・スリッパを牛乳パックやカレンダーの厚紙など身近な材料を使って作りしました。

鎌田地区の歴史 ⑱



奈良井川に両島橋が開通

(平成 5 年 4 月 6 日に渡り初め式)

両島橋は奈良井川の奈良井橋と月見橋の間に位置しており、長野自動車道の全線開通にともなう松本市内の交通渋滞の緩和や地区公民館・体育館など公共施設の開館が進む鎌田地区の更なる地域発展を見越して、市街地と島立方面を結ぶ幹線ルートとして架設された。

橋が完成した翌月 (平成 5 年 5 月) には橋の東から征矢野 1 丁目交差点までの道路 (市道両島鎌田線) も整備開通している。

※写真は架設工事時の両島橋を上流側から撮影

伝統をつなぐ三九郎

3 年ぶりの実施となった笹部町会では、2 基の大きなやぐらの周りに約 300 人が集まり、無病息災を願いました (1 月 9 日)



雑感

文学講座「松本で『安曇野』を読む会」が令和 3 年 5 月に鎌田地区公民館で開催され、翌月には有志の読書会として、新サークル活動となった▼臼井吉見の代表作『安曇野』は、明治から戦後まで日本の激動する社会・文化・思想などを描いた壮大な大河小説で、全 5 巻の発行は昭和 49 年。主要人物は新宿中村屋の創業者・相馬愛三と黒光夫妻を中心とした安曇野から新風を吹き起こした 5 人。その中に松本の木下尚江がいる▼毎月 1 回の例会に、参加者皆で 1 章ずつ読み合わせをして感想や意見交換を行っている。

吉見に造詣が深い堀金の伊藤正住さんをはじめ 16 人の会員からは毎回、行事や人物、著書など関連する豊富な話題提供もある▼6 月は臼井吉見文学館から碌山美術館、相馬家や碌山の墓など安曇野市を訪ねた。12 月は第 1 部を読み終えて、尚江の生家周辺を巡った▼安曇野市では、全国に「あづみの」を広めたいと、この小説を原作とした NHK の大河ドラマ化に向けて積極的な取り組みを始めた。放映時には読み終えていたいと思う。想像しただけでも心躍る。(南雲多栄子)